

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 地域学校協働活動の取組事例

児童生徒一人一人に応じる学校支援活動(岩手県 普代村)

取組の概要や経緯

普代村学校支援地域本部は、学校を支援するため、学校が必要とする活動について地域の方々をボランティアとして派遣する組織であり、「学校の応援団」として位置付けている。地域コーディネーターを配置し、地域の方の協力を得ながら授業補助や登下校の見守り、環境整備を行っている。



内容

- ・ 村内小中学生の学習環境の改善のため、学校と家庭、地域が連携し学習補助や登下校の見守りなどを実施している。
- ・ 村内の小学校と中学校に各1名のコーディネーターを配置し、学校からの要望等に応じて、地域ボランティアを募集している。ミシン学習補助や読み聞かせ等の学習支援、登下校の見守りなどの安全支援、校庭の草刈りなどの環境整備支援などの活動を年間を通して計画的、継続的に実施している。



ポイント

- ・ 地域の方々と学校とを結びつける地域において大切な事業である。
- ・ 少ない人口のよさを生かした地域学校協働活動が実施できるように努めている。

成果

- ・ きめ細やかな学校支援活動の体制が整っていることで、児童生徒一人一人に応じた支援が実施されている。
- ・ ミシン学習補助、登下校時の見守り活動、学校の環境整備支援活動などを通して、児童生徒への学校行事や部活動の円滑な運営のためのよりよい学習環境が提供できている。

今後の方向性

人口減少と少子高齢化によりコーディネーターとボランティアの人材確保が課題である。

また、ボランティアに過度な負担をかけないようにローテーションや活動内容を考え配慮し、継続してボランティアに参加していただけるように運営していきたい。